

令和5年度学校推薦型選抜小論文  
生物資源科学部地域資源開発学科 県内・全国高等学校

文章等で解答する設問については、解答の一例を挙げています。文意が解答例と同等の場合は正答とします。また、誤字脱字なども採点の対象です。

<出題の意図>

アドミッションポリシーに基づき、「農」や「食」の分野に関する基礎的な知識、および課題を認識する力を評価することを目的として出題した。目新しい技術に対する課題分野地域としての日本に関する英文、また図表の作成に関する作業を通して、本学科で学ぶために必要な基礎的な知識、論理的思考力、表現力が備わっているかどうかを評価する。

I

問1

アミノ酸がペプチド結合によって多数つらなったポリペプチドである。

問2

$C_6H_{12}O_6$

問3

段階あるいは過程：食品の製造や調理の過程で生じる廃棄物。

理由：家畜が摂取したときに障害となるような異物の混入がないため。

問4

二酸化炭素

アンモニア

II

問1

(採点のポイント)

遺伝子組み換え技術について、高等学校生物の教科書に記載された内容で説明できている。

問2

(採点のポイント)

ゲノム編集は任意の突然変異を引き起こすことを理解している, 等。

III

問

(採点のポイント)

英文を読んで基本的な内容を理解することができるか